

## 《研究課題名》

一般市民を対象とした加齢性疾患リスクを評価できる血液バイオマーカーの探索

## 《研究対象者》

「一般住民の潜在性動脈硬化進展度および予後の追跡調査（滋賀動脈硬化疫学研究セッサ）」へ2006-2008年に参加され、かつ、2010-2017年に実施した再調査に参加された方

## 研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方よりすでに採取させて頂いた血液試料および情報を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。試料・情報の使用について、直接ご説明して同意はいただきず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究への試料・情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記（8）の問い合わせ先へご連絡ください。

## （1）研究の概要について

### 《研究課題名》

一般市民を対象とした加齢性疾患リスクを評価できる血液バイオマーカーの探索

《研究期間》 滋賀医科大学学長許可日～2027年10月30日

《研究責任者》 滋賀医科大学 社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之

## （2）研究の意義、目的について

### 《意義》

加齢に伴う動脈硬化性疾患は現在も日本人の死因の約3分の1を占める重要な疾患です。また、サルコペニアは健康寿命に大きく影響するだけでなく、様々な疾患リスクにも影響します。超高齢化社会を迎えた日本では一次予防に関する知見の必要性が増している中で、加齢性疾患リスクを容易に評価することができる血液バイオマーカーを探索し、生活習慣との関連性を検討することで加齢性疾患の予防・改善に貢献できる知見を得ることが期待できます。

### 《目的》

本研究では、一般地域住民男性を対象に生活習慣の行動変容によって変動する加齢性疾患リスク（動脈硬化関連指標、サルコペニア関連指標、糖尿病関連指標、認知機能、体脂肪等）と血液バイオマーカー（マイオカイン、アディポカイン、内皮由来血管調節物質）との関連を立命館大学との共同研究によって明らかにすることを目的とします。

## （3）研究の方法について

### 《研究の内容》

本研究は、滋賀医科大学を中心に、立命館大学が協力して行う多機関共同研究です。運動や食習

オプアウト

慣などの生活習慣によって変動する加齢性疾患リスクを評価できる血液バイオマーカーを探索します。

#### 《利用し、又は提供する試料・情報の項目》

本研究では、すでに採取させて頂いた血液および情報を用いて行います。

#### 《試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名》

国立大学法人 滋賀医科大学 学長 上本 伸二

#### 《試料・情報の提供を受ける機関の名称》

立命館大学

#### 《提供する試料・情報の取得の方法》

「一般住民の潜在性動脈硬化進展度および予後の追跡調査」の研究にて取得した血液および情報を用いるので新たな情報の取得はしません。

#### 《試料・情報の提供方法》

郵送にて提供します。なお、情報については、電子記録媒体にて提供します。

#### 《提供する試料・情報を用いる研究に係る研究責任者（多機関共同研究にあつては、研究代表者）の氏名及び当該者が所属する研究機関の名称》

滋賀医科大学 NCD 疫学研究センター・社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之

#### 《試料・情報を利用する者の範囲》

滋賀医科大学 三浦克之

滋賀医科大学 近藤慶子

立命館大学 家光素行

立命館大学 藤江隼平

立命館大学 村上晴香

立命館大学 高田秀志

立命館大学 内田昌孝

立命館大学 井之上浩一

#### 《試料・情報の管理について責任を有する者》

国立大学法人 滋賀医科大学 学長 上本 伸二

#### 《本研究に用いた試料・情報の二次利用について》

本研究対象者を対象とした再調査の結果との関連を検討する可能性があります。後続の研究で使用する際は改めて倫理審査委員会において承認を得てから行います。また、滋賀動脈硬化疫学研究セッサのホームページ（<https://shiga-publichealth.jp/sessa/>）でその旨についての情報を公開いたします。

#### (4) 個人情報等の取扱いについて

本研究を実施する際には、あなたの試料・情報から、あなたを特定できる情報（氏名、生年月日、住所等）を除き、代わりに本研究用の ID を付けることで、その試料・情報が誰のものであるか分からない状態にします。ただし、必要な場合に特定の個人を識別できるように、あなたと ID を結び付けることができるような加工をした情報を残します。尚、加工された情報は、施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

また、共同研究機関（立命館大学）にすでに採取させて頂いた血液および情報を提供する場合には、研究用の ID を付記し、個人が特定されない状態で提供します。

#### (5) 研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないように、十分配慮いたします。

#### (6) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記（8）の問い合わせ先へご連絡ください。

#### (7) 利用又は提供の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の試料・情報を本研究に利用（又は他の研究に提供）することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記（8）にご連絡ください。

#### (8) 本研究に関する問い合わせ先

**担当者：**滋賀医科大学 NCD 疫学研究センター・社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之

**住所：**520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町 滋賀動脈硬化疫学研究セッサ事務局

**電話番号：**077-548-2435

**メールアドレス：**sessa@belle.shiga-med.ac.jp